夕刊

四月三十日發行

定價一ヶ月金五拾錢（郵税共）
廣告料 普通一行金六拾錢 特別一行金七拾錢 五號十二字詰一行金九拾錢（但特別指定一行金壹圓）
編輯兼發行人 植木哲
印刷所 磐城新聞合資會社
發行所 磐城新聞合資會社
發行所電話 四十六番
發行所振替口座 仙臺一〇八九五番

日曜祭日 翌日休刊
東京振替口座 一〇八九五番

昭和十二年五月一日

磐城新聞

〔土曜日〕

第四千九百十一號

〔一〕

野麥だより

野本多霞夫

○『野麥』發行遲延に就いて——

私達の同人雜誌『野麥』が、諸種の事情で遲れてしまつたのは、寄稿家の方達へ誤解や曲解を避けるために初め『野麥』に好意をよせて下さる方達に申譯なく思つゞけてゆきたいと思ふがわけである

私達は、なるべくそんな變な揶揄的な文句でわざわざ御書を下すつたやうな

今後この『野麥だより』を

一四）△大阪に內國勸業博開かれ、初めてイルミネーションを點ず（明治三六）△ウインに萬國博覽會開かる（明治六）

編輯同人たる、またチライ哉デス）

日——△日本赤十字社の創立記念日△陸軍5月——航空隊生る（大正

郵店杏花

珠雲　小野務平

小姓奏態亦城珍
來訪野橋茅店春
萬朶杏花紅灼々
無雙嬌豔動詩人

講談

妖刀流轉

（75）邑井貞吉演

古傷の仲間（三）

軍『それにしても、能く逃げられたナ』

熊『マア聞いておくんなせえ、忘れもしねえ九月二十六日の晩だつたが、私がいられてゐるんちやあ何うにもならねえ、然し苦しい時つきの通り穴藏へ下りて行くと、いきなり何ふ脛を打拂はれ、アッと前へのめつて失敗つたと思つた時は既に大塚の方へ逃げて行く故、これは大變手が廻つたもので、何處までも知らぬ存ぜぬで通さうと腹を据だのさ、小屋の中には夫婦つて參つた次第、心を入れ換へし辛抱をいたす心算ゆえ、熊吉何卒拙者の惡惡は悉々も內聞に相願むぞ』

熊『生命からく穴藏を逃げ出したものゝ、後手に縛られてゐるんぢやあ何うにも穴藏へ下りて行かうとすつても途端御用〳〵と烈しい聲、若旦那もその樣だから、何處までも知らぬ存ぜぬで通さうと腹を据だのさ、小屋の中には夫婦つて參つた次第、心を入れ換へし辛抱をいたす心算ゆえ、熊吉何卒拙者の惡惡は悉々も內聞に相願むぞ』

軍『申す迄もない事だ、その間には相洲の山中で山男同然の生活もされては熊吉』

熊『オッと、今の名は文助です』

軍『成程名を變へて居るのか、それなら文助』

文『へい、又後にお目にかゝりませう』

熊吉の文助、臺所の方へ廻つて行つた樣子

熊『エ、そりやあもう心得て居りますとも、お前さんの六日の晩に一番あとから幽

老猫

飯田　渭

○野をこめし朝靄の中に消に去りし一羽の小鳥の淡しきかな

○走り來れば高き胸うちに驚きて面影笑む青き空かな

○五年をわが愛ひの老猫に頬すりよせてたゞに泣きたし

○月しろに利根の提の果てしなく高い續くを一人步みゆく

○吹きさらしの代々木の原にはこりあびて自轉車走らす愛しき子供ら

窓にもたれて

山村　清二

たしても眞白な煙靄かしただただ慕遲する單調な高低の響を聞いて——

放心した窓に

碧の空をふわりと一片の雲がちぎれ飛び丘を過ぎる

じめじめした溝には黃色い檢草の間に花咲き

こぼれ

いつしか春のけはいが忍び込んでくる

朔北の大地に自然の怒號に積雪に挑戰しな桑の木も肉はさけ

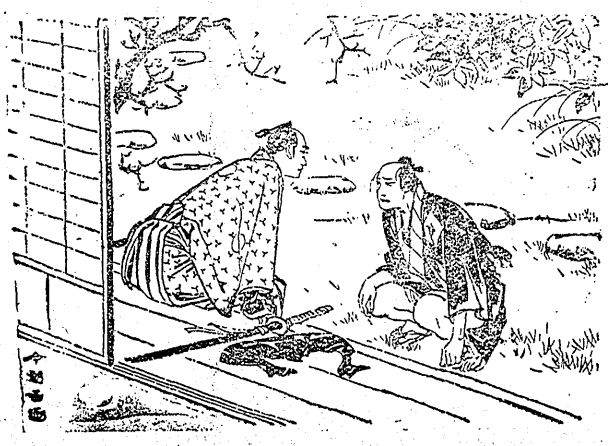
骨はへし折られ

生育機能の停止に再び伸び上る力を永久に失ふてしまつた

春の白い路に

人の世の果敢なさを偲ばすやうな枯枝が

無雜作に散らばつて、無心に空を仰ぐである



とでは腕が遂ふ、岡つ引は大島さんや廣瀨の若旦那はどこか一太刀斬られたと見へ、アッといつて倒れやアがつた、大島さんは其隙に乘早く階上へ逃げなすつたと思つたので、その儘江戶を高飛しこういふ時は遠國へかけて行つた際にネ、私も離れてゐるが第一と、元へ復つた渡り仲間、流れ流れて此處の家へ奉公に住込みましたが、そこでマア思ひがけなく、お前さんに逢はうとはこんな不思議な事は無いがそれにしても若旦那お前さんはよくマア逃げられましたネ、大島さんは何うしましたえ』

軍『サアその大島氏の事も朝夕心にかゝつて居れど、何分にもあの場合、自分の身が怖いから後前の考へもなく逃げ出したが、拙者もお前と同じこと隨分と苦しい思ひをしたぞ拙者も二十

迎も八丁堀へは歸られねえ

時代の要求皆樣の足!!
尼子タクシーへも
豆タクが入りました。
御玄關から玄關へ……迅速簡便
是非御利用を……。
市內……三〇錢　市外……四割引
流線型セダン、大型貸切バス
官行！直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします。
平町二丁目
尼子自動車商會
電話六四〇番

夜間診療
内科
胃腸病科
專門
花柳病科
性病科
皮膚科
松村胃腸性病科醫院
（平町南町電一〇七番）
（見習看護婦募集）

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
和洋銅物
金物問屋
釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番　九九番
振替貯金口座　東京一〇、九五六番

確實敏捷は久の生命なり
吉田眼科醫院
醫學士　吉田久雄
平町紺屋町電話六八番

外科、內臟外科
院長安齋徹
エツキス光線科
產婦人科
醫學士黑澤廣
新設……
平町田町
入院隨意
安齋醫院
電話四七五番

新築落成
外科（內臟外科及一般外科）
X光線科、花柳病科
岩手醫學士　萬波勳
內科、小兒科
院長前田清美
（自炊ノ便アリ）（病室完備）
前田醫院
植田町本町電話一二四番

肺病ロクマク
其徵候としては原因なくして肩がこるとか胸が痛むとか、寢汗が出るとか、輕くて繼續する『セキ』をするとか、顏色が段々蒼白くなるとか、體重が月々著しく減ずるとか、朝より午後になると輕度の熱が數日以上續く場合感冒又ハ流行性感冒の後久しく疲勞不快の感覺を脫せざる場合には『ゼヒ』一二週間位服用して下さい、必ず御滿足を得る事と信じます、今迄に全快せられし御方は數多く御座います。
此藥は他の藥店にありません。
價一週間…三圓　二週間…五圓五十錢
常磐線植田町
ハイロクノール
代理店
安田屋藥局
電話一〇三番

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社直油特約店
關彰商店平支店
電話六一番
本店　水戶線下館驛前
（電話五五・三三九番）
茨城縣土浦町田宿
（電話六五三・八二四）
支店所在地
常磐線關本驛前（電話平潟五四）
常磐線四倉驛前（電話四八）
入慈濱支店（電話二三七番）
小名濱、大津、平潟
海上給油及油槽所（江名濱）
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油、植物油、胡麻油、種油、カーボタール、石炭、コークス・ストーブ

衆大選擧の 總意はどう反映するか けふぞ審判の日！

肅選に高鳴る胸を抑えて 息づまる投票所風景

公正明朗なる國民總意の審判によつて『肅正衆議院議員總選擧』の金字塔を築かんとする今次の總選擧戰は過去二旬餘に亘り未曾有の亂戰、激戰を演じ、今曉の突擊白兵戰を最後として戰塵は全くをさまり、玆に審判の日は愈よ來たのだ、全國の隅から隅に亘る選擧大衆の總意は果してどう反映するか？國民審判の——聖斷の日ではある午前七時、花火、太鼓、サイレン、半鐘等を合圖に投票所の扉はサッ！と開かれた、朝來の快晴に戶每の國旗が春風にはためいて絕好の選擧日和である、永い間吹き込まれた肅正に高鳴る胸を抑えた有權者の群は別項の如く夜打ち朝がけの熱心さを見せて、横斷幕其他に飽迄『肅選』を强調した選擧場へと吸ひ込まれて行く——平町は午後二時迄に總數四千七百八十六票の六割七分弱に相當する三千二百票。斷くして息づまる緊張裡に貴き、清き一票の行使は午後六時迄續くのである。情實にこだはらず黄白に溺れぬ筈の所謂『肅選』が實際問題としてどう展開されるか、その成行きこそ刮目に値する

開かれる玉手箱 開票終了豫定時間

平町はあす午後六時

今夕六時、無言のゲームセット、サイレンによつてさしも激しかつた逐鹿の白兵戰は完全に大團圓を告げ——緊張——不安——焦躁の交錯した夏苦しい一夜が明ければ愈よあすは開票の日である

平 下小川 植田 中村
原町

の各開票所は午前八時一齊に開所、投票箱の搬入順によつて開票が進められ翌二日これ亦午前八時を期して開かれる双葉開票所の結果によつてその當落が決せられるわけだが各開票所の終了豫定時間は大体左の如くである

△平第三小學校—一日午後六時（管理者庶務課長遂林正吉）
△下小川小學校—一日午後二時（縣屬五十嵐元）
△植田小學校—一日午後五時半（同本多角之助）
△相馬郡元郡役所—一日午後四時半（社寺兵事課長大高省三）
△相馬郡原町小學校—一日午後三時（縣屬渡邊浩）
△双葉郡役所—二日午後四時二十分（同遠藤金吉）

正午迄約半數 棄權も案外少いか

平町の投票所

平町の投票所は午前七時開扉と共に先着は
（赤）1長橋町高子敎藏 2一丁目飯田近治 （白）1杉平鹿又甚內 2須賀要吉 （紫）1舊城跡柴田長之助 2才槌小路鈴木唯弘

天候に恵まれてゐた關係から出足頗るよく
（九時）一、一〇〇名 （十時）一、六〇〇名 （十一時）一、九〇〇名 （正午）二三五〇名で有權者四千七百八十六名だから早くも四割九分强に上つた、この分では棄權率も案外少からうと見られてゐた

ドッと四十六萬 平局で取扱つた選擧郵便

前回よりは一寸減少

けふ『郵便洪水』を押し切つた平局には長閑な氣分が漂つてゐた——同局が扱つた今次の選擧郵便數は
（引受） 無料二三七、七二〇通 有料九八、七二五 通計三三六、四四五通
（配達） 一二一、二一五通
合計四五七、六六〇通
で前回の
（引受） 三二一、六六二通
（配達） 一四〇、四〇六通
合計四六二、〇六八通
に比し僅か四千四百八通（約一分弱）の減であつた

去る十四日から取扱つて最も多かつたのは二十一日の十一萬三千七百四十通（引受九七、三二五通 配達一六、四一五通）この選擧郵便に當つた從業員は延べにして配達三百名區分係百六十五名である

鎌田青年會 國旗掲揚式

平町鎌田青年分團が創立四十週年を記念して同町熊野神社境內に建設した大國旗掲揚式は昨二十九日の天長節をトして午前十時から關係者列席の下に擧行、終つて粗宴を張つた
國旗は巾九尺 長十二尺である

平署 管內で二百四十回

六候補者の演說回數

六候補が平署管內で行つた演說回數は左の如く合計二百三十九回
星七八 鈴木四八 比佐三七 植松三二 山田二八 太田一六

養蠶實行組合

郡下四ヶ所に新設

蠶糸業組合法に基き郡下に左の養蠶實行組合が新設された
泉村第一 山田村下小田 川部村沼部 上遠野村上遠野町

北。。。。。。 北野天滿宮祭典 平町仲間町北野天滿宮祭典を今三十日執行、餘興に活動寫眞花火

遞。。。。。 遞友卒業者大會 昨二十九日仙臺市遞信講習所で開く筈であつたが選擧の爲め延期され來月十六日開かれるので平局からも參加する

機關場火事

內郷村高坂磐城炭礦住吉坑機關場から二十九日夜十時四十分頃發火全燒した、原因損害平署で取調中

平。。。。 平局慰安會 選擧も終つたので平局では來月四日から三日間毎日午後六時から從業員の慰安會を開く

平局特別電話 抽籤

來月三日局樓上で

平局の本年度電話特別開通は申込み八十二口に對し架設十三口、來月三日午前十時から同局內で抽籤で行はれるがこのうち平窪信用組合、平町新川町渡邊又吉、南町瀬谷百子兩氏の三口は優先權を得て今明日中に架設されるので實際の抽籤は七十九口に對して十口である、決定した三口の電話番號左の如し
七二六—平窪信用組合
七二七—渡邊又吉
七二八—瀬谷百子

三等局長會議

郡下三等郵便局長會議を來月九日午前九時から平局に開き事務全般に亘り打合せる

死を前にして「出征の用意」

偉いぞ！深谷四三郎君

軍事美談

こゝに軍事美談がある——平町堤の內深谷四三郎君（三七）は陸軍豫備上等兵として滿洲事變に出征歸鄉間もなく病みつき、貧困のうちにも療養に努めてゐたが去る二十五日死亡した、死の直前宇三郎、小四郎の二人の兄さんを枕下に招いて『自分の死後は奉公袋を開けてくれ……』と云つてあつたので兄弟が開けて見るとその中の軍隊手帳の間には五圓紙幣二枚が折り込まれ、いつ何ん時でも召集に應ぜられる準備が整へてあつた、これを耳にした藤井在鄉軍人平分會長は直にこの旨を目下徵兵檢査で來平中の竹原大佐に報告した處同大佐も非常に感激し藤井分會長と共に同家を訪れて燒香したので今度は兄弟が感謝し前記十圓は『國防費の一部に……』と献金した、同大佐はこれを軍事美談として在鄉軍人會の機關雜誌である『戰友』に掲載全國に紹介する事となり目下大佐の命を受けて藤井分會長が執筆中であると

天氣豫報

小名濱測候所發表

今晚は北東の風曇
明日は北西の風曇後雨

花嫁見物中の奇禍

千代ちやん哀れ死亡

勿來町大字窪田字町通七〇常磐自動車合資會社運轉手大林浩（三〇）假名—が二十八日午後二時半ごろ無免許にも拘らず花嫁を乘せて町內を運轉、同町同字五三雜貨商赤津輝一氏方前を徐行中同家子守緑川トメ（一四）が同家三女千代子（三）を背負つて花嫁見物に來たのを右のバンパーでトメの足を引つかけて倒しその際背中の千代子が頭部を打ちつけ重傷を負ひ手當中であつたが千代子は二十九日午後二時遂に死亡した

何の負けるものかと投票所へまつしぐら

三人男、先着爭ひ風景

投票所の先着爭ひの妙味は一般人には判らない、何でもこの前の總選擧だつたかどこかに前夜の七、八時頃からフトンと猫火鉢を運んで寒い一夜をガン張り通した男があつたと云ふんだから——平の投票所は今度は誰が一番だらう……と今曉三時半床を蹴る

町役場の前迄行くと豫期した通り、焚火をかこんで二、三の人影。一体誰だらう？と近づいて見ると例によつて長橋町の高子敎藏（六三）さん、舊城跡柴田長之助（五九）さん、一丁目飯田近治（五四）さんの三人である、町役場の戶は未だ開かれない、遠くから聞ねて來る鷄の聲を吹きとばしてハイヤーが大通りを走つて行つた

『早いですネ……』

と聲をかけると一齊にこちらを向いた三つの顔が申し合せたやうに

『ナーニ俺達は選擧狂なんだから……』

と云つた、この三人こそ既往の縣會、國會で前後六回に亘つて一番槍を爭つた『選擧三人男』である、今回は高子さんが一時に來て一番槍を占め、柴田さんは五六分遅れて惜しくも二位に落ち（それでも投票は柴組の一番でアル）飯田さんはあのカイゼル髯をなびかせて三時頃驅せつけたのだ

○

それから小一時間過ぎて才槌小路の桶職鈴木唯弘（三四）さんが職人らしい元氣な顔を見せ、同町の石川武八（四八）さんが五番目に驅けつけ——町役場の松本さんがニコ〜〜しながら入つて來た頃はもう東の空が白んで焚火の火も大分灰になつてゐた

演說を聽いて そのまゝ押し通す

一番乘りの高子さん

一番乘りをして鼻高々の高子さんは昨年の總選擧にも先陣を承つた程の熱心さから區民はみんな『選擧の神樣』と呼んでゐる、一昨年秋の縣議選擧には投票所附近で柴田さんと出會ひ『何の負けるものか』と老の身も打ち忘れて一目散に驅け出し遂に『一番乘り』の榮冠をかち得たハリキリ爺さんだ、今度は昨夜最後の演說を聽いてそのまゝ押し通し午前一時の聲を聞かぬうち二重廻しにアサ裏草履と云ふいでたちで馳けつけ早速焚火をたいてプカ〜〜煙草をえぶして得意顔だつた

悠然たり飯田さん

妙味を語る柴田さん

去年の總選擧には二番目、今度は三番目に落ちてしまつた飯田さん、軍隊外套に金剛杖をつき、カイゼル髯をしごいてナカ〜〜元氣だ 神棚にお燈明をあげて肅正を祈り、國旗をたてゝ先づ朝茶を一パイやつてから出て來た、マア年の順から云へば三番目が丁度いゝ處だらう

又去年は三番目だつたが今度は憤起？して二位にこぎつけた柴田さんは

三着迄の人が立會ひで投票箱を檢べる時は何とも云へない氣持ですよ、投票が終つて出た時は又胸がスーッとするからね……

……と顔中をシワだらけにして先着の妙味を語つてゐた

一日（小名濱測候所發表）
滿潮 前五、五五 後九、二〇
干潮 前 後一、四〇

舊三月二十一日
土曜 戊子 大安 成 氐宿
新五月一日

諸判定總裁 東京市本鄉區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠舘

▲一白 萬事を見合せ衝動せざるが無難普請轉宅凶▲二黑 甘きはなしには耳を傾く可らず窓外の難を受く▲三碧 諸事停たいなく運ばるゝ日縁談金談まとまり吉し▲四綠 はらんなきを最上とし妄りに事を起さぬが吉▲五黃 油斷の隙より邪氣に襲はれ害を蒙る事甚大▲六白 計畫は意に叶ひ雄飛すべき日うちよ機を逸す▲七赤 成算ありてもみだりに進めば手を燒く思あり▲八白 首尾全からぬ日定業を勵むが無事平安とす▲九紫 骨組は立派なれど土臺のぐらつくが如き日

廣告

豪華なサロン 新たな設備！
御同伴で御商談 御會合に
（心付御會計の一割外拜辭）
御食事 喫茶 小宴會
連日滿員御禮
グリル バッカス 電七〇二

六丁目 木村外科醫院 電話三〇九番

平町田町 井坂産科婦人科醫院 電話五五九番

高久病院 院長 高久忠 電話五一三番

貸切自動車 高級流線型
迅速 親切 叮嚀
◎時代の要求!!! ◎時代の寵兒!!!
皆樣の足
◎お玄關からお玄關への……
◎豆タクを是非御利用下さい
…賃金低廉普通料金の三割引…
(本) 平和タクシー
豆タク部
植田台町
電話六十四番

壯年、老年の方 飲酒家、肥滿體の方 血壓をお測り下さい
當店では皆樣のために標準血壓計を設備致し御自由に御使用願ふやうに致しました
血壓降下藥として又それの放任に依つて起る中風、動脈硬化、腦溢血、神經衰弱等の最も恐る可き老衰病の豫防並に治療劑として
プロナウン
の効果、當店の信用に懸け確固たる自信のもとにお勧め申上ることの出來る製劑
定價 ¥1.50 ¥3.00 ¥5.00 ¥10.00
福島縣平町田町 阿部藥舖

選擧の得票記入表 一枚四錢
平町白銀町 會川活版所 〔電話（呼）四五六番〕

耳鼻咽喉科專門 醫學士 鈴木正男 平町田町（電話五八番） 藤田女學校前

齒科口腔外科 日本齒科醫學士 鈴木喜政 内鄉村高坂磐炭病院前
『入院のお需めに應ず』（看護婦及び見習看護婦募集）
鈴木醫院